

JBAバイオエンジニアリング研究会 プラントエンジニアリングはどうか？！ ～これからのバイオ医薬製造プラントのあり方

コロナ禍により、多くの製造業でサプライチェーンの分断化による生産停止など多大な被害が発生した。ワクチン接種が進み、新規感染者が減少し始め、明るい兆しも見え始めた2022年、プラントエンジニアリング会社および関係企業をお招きし、日本のものづくりが国際社会で生き残るための戦略について討論いただきたい。今回は医薬品製造分野において、タンクからシングルユース、連続生産と変わってきている流れを踏まえ、今後の潮流がどうなるかについて議論したい。

日 時：2022年3月8日（火） 14:00～16:00

定 員：MS-Teams会議120名

主 催：(一財)バイオインダストリー協会

協力・協賛：次世代バイオ医薬品製造技術研究組合、日本生物工学会日本動物細胞工学会、
日本化学会、化学工学会バイオ部会、日本生化学会（いずれも予定）

後援：日本農芸化学会（予定）

14:00～14:10 はじめに:日本のプラントエンジニアリングへの期待

開田 強 氏（サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)
バイオプロダクション事業部 ディレクター）

14:10～14:50 ポストコロナの医薬品製造工場の施設・設備設計のポイント

加藤 泰史氏（日揮(株) プロジェクトソリューション本部 ライフサイエンス
ソリューション部 技術管理グループ グループリーダー）

14:50～15:30 バイオ製剤の包括的かつ高度な専門的支援を行うソリューション

安本 篤史氏（ネクスレッジ(株) 代表取締役社長）

15:30～16:00 パネルディスカッション

ファシリテーター：開田 強 氏（サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)
バイオプロダクション事業部 ディレクター）

加藤 泰史氏、安本 篤史氏、梶原 大介氏（第一三共(株) バイオロジクス本部
バイオ医薬研究所 主任研究員）

MS-Teams会議参加：JBAホームページよりお申し込みください。

締切：3月4日(金) 17時 参加費：無料

お問合せ：(一財)バイオインダストリー協会（担当：橋本、岸本、矢田）